

## 目次

はじめに	5
想定する構成について	6
用語について	6
使用するリカバリ機能について	6
データ復旧時に必要なストレージ容量の目安	7
1章 システムリカバリの準備をする	9
STEP-1 設定値を確認する	10
STEP-2 インストーラーの準備をする	10
STEP-3 メインサーバーのライセンスコードを手元に控える	11
2章 システムリカバリを使用して復旧する	13
STEP-1 VVAULTをインストールする	14
STEP-2 システムリカバリモードに移行する	14
STEP-3 ユーザーとグループを作成する	16
STEP-4 システムリカバリを行う	17
<b>STEP-5</b> 障害・警告を確認する	18
3章 任意時点の状態を復旧する	20
STEP-1 マスタドライブをマウントする	20
STEP-2 タイムマシーンから復元する	20
<b>STEP-3</b> 復元したコンテンツを元の階層に配置する―――――	23
STEP-4 障害・警告を確認する	24
4章 設定値を復旧する	25
STEP-1 マスタドライブの設定を再設定する	26
STEP-2 マスタドライブ内のフォルダーのアクセス権を確認する	26
STEP-3 マスタドライブ内の共有フォルダー設定を再設定する	26
5章 レプリケーションを再開する	27
STEP-1 レプリケーションの設定を再登録する	28
STEP-2 レプリケーションを再開する	28

6章 トラブルシューティング	31
障害·警告一覧	32
状況と対処法	32

# はじめに

## はじめに

## 想定する構成について

本書では下図のようにVVAULTでレプリケーション環境を構築している場合を想定し、メインサーバーが運用 不可になった際に、リカバリ機能を使用してマスタドライブを任意時点の状態に復旧する手順を解説します。



## 用語について

### 本書で使用する用語は、次のように定義します。

メインサーバー	VVAULTをマスタモードで運用しているサーバー。
スタンバイサーバー	VVAULTをレプリカモードで運用しているサーバー。
マスタドライブ	マスタモードでマウントしているVVAULTの仮想ドライブ。
レプリカドライブ	レプリカモードでマウントしているVVAULTの仮想ドライブ。
レプリケーション	VVAULTの機能で、メインサーバーからスタンバイサーバーヘレプリケーションすること。
バックアップ	VVAULTの機能で、メインサーバーまたはスタンバイサーバーの同一サーバー内にバックアップすること。
レプリケーションデータ	スタンバイサーバーヘレプリケーションされているデータのこと。
バックアップデータ	同一サーバー内にバックアップされているデータのこと。

## 使用するリカバリ機能について

本書では、VVAULTの以下のリカバリ機能を組み合わせて、データの復旧を行います。

なお、これらの機能をご利用いただく場合、予め以下の設定が必要です。

- ・スタンバイサーバーのサービスポリシー設定にて「システムリカバリ機能の使用」「タイムマシーン機能の使用」が許可 されている
- ・メインサーバーのレプリケーション設定にて「タイムマシーン機能」が有効、かつ充分な保存期間が設定されている

### ▼ システムリカバリ

バックアップデータ、またはレプリケーションデータから、マスタドライブ内の全てのデータを最新の状態に復旧します。 システムレベルの障害が発生した場合など、本製品を新規にインストールしなければならない場合でも、バックアップ データ、またはレプリケーションデータから本製品で使用していた全てのデータを復旧することができます。 メインサーバーが運用不可になった、もしくは新しいサーバーをメインサーバーにしたい場合にこの機能を使用します。

#### システムリカバリ非対応の項目について

システムリカバリはメインサーバーの各種設定値も復旧しますが、一部、復旧しない設定値もあります。 この設定値は、システムリカバリ後のメインサーバーの構成に合わせて手動で設定してください。 現在の設定値を控えておきたい場合は、事前にナレッジベースをご確認の上、お手元にお控えください。 ・システムリカバリ非対応の項目について

https://vvault.jp/knowledge/0\_696.html

### ▼ タイムマシーンによる復元

バックアップデータ、またはレプリケーションデータから、マスタドライブ内に任意時点のファイルを復元します。 フォルダー単位、ファイル単位で指定した日時のデータを復元することができます。

### ご注意

設定されている「タイムマシーン保存期間」を超過したタイムマシーンのデータは自動的に削除されます。 タイムマシーン保存期間が短く、復旧開始までに期間が開いてしまった場合、ランサムウェア被害を受ける前のデータが削除さ れ、一部コンテンツが復旧できなくなる可能性があります。 保存期間については、WEBマニュアルをご覧ください。 ・20-1 タイムマシーンとは > 保存期間によるデータの削除について https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/20-1.html

## データ復旧時に必要なストレージ容量の目安

各リカバリ機能を実施する際には、以下のストレージ容量が必要となります。復旧を行う際に参考にしてご準備 ください。

### ▼ マスタドライブ

・システムリカバリ時

スタンバイサーバーにレプリケーションされている、最新データ分(管理コンソール上に表示されているVVAULT使用量)の容量が必要になります。

### ・タイムマシーンによる復元時

タイムマシーンで復元したいコンテンツ分の容量が必要になります。

※本書には、システムリカバリ完了後にタイムマシーンによる復元を行う手順を記載しています。なお、急いで復旧したいファイル がある場合は、システムリカバリ中にタイムマシーンによる復元も行うこともできます。その場合はそれぞれのリカバリ機能で必要 とする容量を持つストレージをご準備ください。

### ▼ レプリカドライブ

タイムマシーンで復旧したファイルは、レプリケーション再開後に新しくレプリケーションされます。そのため、本書の手順 でタイムマシーンを使用して全てのファイルを復旧した場合は、およそ一世代分の容量が追加で必要になります。

## 本書の適用範囲

・本文書の内容は設定・操作手順を中心とするものであり、製品やサービスの内部構造に関わる設計および 構造に関しては原則として含みません。

・各機能の詳細についてはWEBマニュアルをご覧ください。

- ・レプリケーション https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/18-1.html
- ・タイムマシーン(設定) https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/20-1.html
- ・タイムマシーン(復元) https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/22-2.html
- ・システムリカバリ https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/22-4.html

## 1章 システムリカバリの準備をする

## 1章 システムリカバリの準備をする

メインサーバーが運用不可の場合、本章で設定値の確認とインストーラー等の準備を行い、次章でシステムリカ バリを行うことで、メインサーバーを再構築します。

### STEP-1 設定値を確認する

- スタンバイサーバーの管理コンソールにログインします。右上でレプリカモードにて稼働しているインスタンスを選択し、「レプリカモード」タブを開きます。
- ②「レプリカモード」タブ内の「設定」タブを開き、サービスポリシー設定でシステムリカバリ機能の使用が許可に設定され ていることを確認します。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソー	-או			インスタンス2	レプリカモード(W:) 🔻 🔶	¢ 🕑
□ <b>マ</b> スタモード	🔲 レプリカモード (W:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	障害·啓告情報	1	
\$4 \$P		レプリカドライブ (読み用	改専用) Unmount レプリケーションサー	-EZ ON 7479>	グ OFF レブリカモードに切替	C
<ul> <li>         ・</li></ul>	<b>待受設定</b> パスワード* : ●●●●●● ポート番号* : 443	•••		□表示		^
<ul> <li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	サービスポリシー設定					
	レプリケーション機能の使用			○ 不許可 ● 許可	J	
	ライブリカバリ機能の使用			○ 不許可 ● 許可	J	
	ストレージリカバリ機能の使用			○ 不許可 ● 許可	J	
	システムリカバリ機能の使用			○ 不許可 ● 許可	J	
	タイムマシーン機能の使用	C	不許可 ④許可 90 日	(※最長保存期間:無制限)	·	
	アカウント自動同期機能の使用			<ul> <li>不許可</li> <li>○許可</li> </ul>	J	
	レプリケーションデータ初期化機能の使用	Ð		○ 不許可 ● 許可	য	
						~
				Co	pyright(C) Soliton Systems K.K., All rights rese	erved. v9.5.15

③ レプリケーションサービスが「ON」になっていることを確認します。

IN VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール					<u> </u>	レプリカモード(W:)	• 🧕 🔅	Þ
<b>•</b>	マスタモード	🔲 レプリカモード (W:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	障害·警告情報	1		
<b>\$</b> +	<i>G</i> -		レプリカドライブ (読み目	の専用) Unmount レプリケーションサーと	(ス ON ティアリ	># OFF	レプリカモードに切替	С

## STEP-2 インストーラーの準備をする

インストーラーがお手元に無い場合、以下の手順でダウンロードします。

- ① VVAULT製品サイト(https://vvault.jp/)にアクセスします。
- ② 「製品ダウンロード」を開き、最新バージョンのVVAULTインストーラーを任意の場所(デスクトップなど)にダウン ロードします。

### STEP-3 メインサーバーのライセンスコードを手元に控える

ライセンス証書をお手元にご用意ください。または、以下の手順でご契約のライセンス一覧をご確認いただけます。

- ① カスタマーズ・スクエア(https://vvault.jp/customers/)にログインします。
- ② カスタマーズ・スクエアで「ライセンス管理」タブを開き、メインサーバーで使用していたライセンスコードを控えておきます。

### ライセンスに関して

サーバー移行や故障等を想定し、現在ご利用のライセンスで5回まで再登録(別サーバ可)することが可能です。オンライン登録、およびライセンスコードでの登録では、「登録」ボタンを実行した際に、オフライン登録では、カスタマーズ・スクエアにて、ライセンス識別ファイルをアップロードした際にライセンス発行処理が1回実行されます。

メインサーバーとスタンバイサーバーで同一ライセンスコードを使用したレプリケーションはできません。現在のメインサー バーで使用していたライセンスコードを、新しく構築するメインサーバーでご利用ください。

▼ VVAULT<sup>®</sup> メインサーバー復旧ガイド

# 2章 システムリカバリを使用して復旧する

## 2章 システムリカバリを使用して復旧する

新しいサーバーにVVAULTをインストールします。システムリカバリ機能を使用して、スタンバイサーバーにあるレ プリケーションデータから、最新の全てのデータを復旧します。

## STEP-1 VVAULTをインストールする

インストーラーを使用して、新しいサーバーにVVAULTをインストールします。(以降、本書では新メインサーバーと呼びます) インストールの手順は、WEBマニュアルをご覧ください。

 ・2-1 新規インストールの手順 https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/2-1.html

### ご注意

VVAULTはドメインユーザでインストールすることができません。インストールする際にはローカルのAdministratorsグループ に所属するアカウントでローカルコンピュータにログインし、インストーラーを実行してください。

### ご注意

動作遅延や動作不良等が見られる場合、以下ナレッジベースをご覧の上、設定可否をご検討ください。 ・ウィルススキャンソフト除外設定について https://yyault.jp/knowledge/0 660.html

## STEP-2 システムリカバリモードに移行する

新メインサーバーとスタンバイサーバーを接続し、システムリカバリを行う準備をします。

新メインサーバーの管理コンソールにログインします。
 管理コンソールの動作にはブラウザの設定が必要な場合がありますので、以下をご覧の上、設定してください。

・3-1 管理コンソールの起動 > ブラウザの設定について https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/3-1.html

### ②「システム設定」を開きます。

VVAULT® 管理コンソー	インスタンス1 マ	スタモ−ド(V:)	<b>→</b> Ø, ⊀	⊁ ₽			
🔲 マスタモード (V:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·聲告情報 0			
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I			マスタドライブ Unmount ティアリング	ON フォルダクォータ	OFF	マスタモードに切替	C

③「ライセンス」タブのライセンス登録ボタンより、前章で控えておいたライセンスコードを登録します。 ライセンス登録の手順は、以下をご覧ください。

・9-1ライセンスの登録方法

https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/9-1.html

VVAULT	管理コンソール							<b>9</b> 🗘 🕞
元の画面に戻る								C
システム設定								
ライセンス	メール	プロキシサーバ	アクティブディレクトリ	ログ	高度な設定	高度な操作	初期化	
								ライセンス登録
基本情報								
ライセンス名	: VVAULT Basic							
ライセンスコード	:							
有効期限	: 無期限							
※ライセンス取得時に	は、マシン固有の情報が カン	マタマーズ・スクエア に送信	されます。詳細はナレッジベージ	え を参照してください。				

④ プロキシサーバを使用している場合や、アクティブディレクトリ環境でVVAULTを使用している場合は、システム設定から各設定を行います。

ご利用の環境に合わせて以下をご覧の上、設定してください。

- ・11-1 プロキシサーバの設定 https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/11-1.html
- ・12-1 アクティブディレクトリの設定 https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/12-1.html
- ⑤「バックアップ/レプリケーション」タブを開きます。

レプリケーション設定画面にて、スタンバイサーバーへの「ペアリングURL」「パスワード」「ポート番号」を入力後、「適用」ボタンをクリックします。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソー				インスタンス1 マスタモ	-⊧(V:) ▼	<b>9</b> 🌣 E			
🔲 マスタモード (V:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報 0					
\$\$+ \$\$+			バックアップ	OFF レプリケーション	OFF ライブリカバ	ONC			
<ul> <li>・ バックアップ</li> <li>・ 余子 最速ストレージ</li> </ul>	レプリケーション								
<ul> <li>● � 高速ストレージ</li> <li>■ � 中速ストレージ</li> </ul>		接続テスト サービスス	ポリシー表示 レブリケーション不整合体	2 ペアリング解除	適用	元に戻す			
<ul> <li>● </li> <li>● </li> <li>④ </li> <li>● </li> <li< th=""><th>レプリケーション設定</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></li<></ul>	レプリケーション設定								
<ul> <li>・     <li>・     <li>・     <li>ライブいかでり     </li> </li></li></li></ul>	パアリングURL*       : https:// 10.1.1.12         パズワード*       ●●●●●●●●●●●         パスワード*       ●●●●●●●●●●         ポート番号*       ・ 443         実行時間帯       :● 指定しない       ●時間帯指定       回文         安行時間帯       :● 指定しない       ●時間帯指定       設定								
	912x2→200882: ● 無効 ○ 有: アカウント自動同期: ● 無効 ○ 有: レプルケーション降外: ☑ 作成日時の更	00 C (※度長株存期間 防 新 ☑ 更新日時の更新 ☑ アクセス	」・ロ7 日時の更新  ☑ ChangeTimeの更新  ☑	2 アーカイブビットの更新					

⑥ 確認ダイアログ表示後、以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



⑦ 新メインサーバーとスタンバイサーバーが接続され、システムリカバリモードに切り替わります。

✓ VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソ	ール システムリカバリ(レプリケー:	<b>ションデータ</b> )		インスタンス1 マスタモード(	V:) 🔻 🗭 🌣 🔛
🔲 マスタモード (V:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害· 警告情報 1	
<u></u>			マスタドライブ Unmount ティアリング	ON         フォルダウォータ         OFF	マスタモードに切替         C

### ワンポイント

システムリカバリモードになるとメールの設定も復旧されます。 「レプリケーションデータの整合性が一致しないため、システムリカバリまたはレプリケーションデータの初期化を実行してください。」の障害報告メールが通知されることがありますが、問題ありません。

### STEP-3 ユーザーとグループを作成する

システムリカバリでコンテンツのアクセス権も含めて復元するために、システムリカバリ開始前にWindowsのユーザーとグループを作成します。

- 新メインサーバーの、本製品をインストールしたフォルダーに作成される「UserInfoBackup.txt」を開きます。
   (例:C:¥Program Files¥VVAULT¥ UserInfoBackup.txt)
- ② Windowsの「コンピューターの管理」などから、①のファイルの内容を参考にしてユーザーとグループを作成します。

### ワンポイント

ユーザーとグループを作成しないままシステムリカバリを行うことも可能です。 復元時に存在しないアカウントは、システムリカバリで復元されたコンテンツのセキュリティタブに「不明なアカウント」として表示 されます。これらのコンテンツのアクセス権は、復元完了後に手で設定しなおしてください。

### STEP-4 システムリカバリを行う

システムリカバリを行い、スタンバイサーバーにレプリケーションされていた最新データの状態を新メインサーバーに復旧します。 システムリカバリの速度は、コンテンツ総数・総サイズおよび、ネットワーク環境に依存しており、多くの時間を要します。

①「マスタモード」タブを開き「ストレージ追加」ボタンをクリックします。復元先の構成ストレージを登録します。

✓ VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール システムリカバリ (レブリケーションデータ)						<u> </u>	₹ <b>ス</b> タモ−ド(V:)	· 2.	\$₽
🔲 マスタモード (V:)	バックアップ / レプリケーション TMS				タイムマシーン	障害·警告情報	1		
<u></u>					マスタドライブ Unmount ティアリング	ON フォルダクオー	-9 OFF	マスタモードに切替	C
<ul> <li>マンクロン (V:)</li> <li>マンクロン (V:)</li> </ul>	VVAULT (V:	)							
■ 《 高速ストレージ	マスタドライブ	分散ドライブ	フォルダ割当						
<ul> <li>■</li></ul>	😑 マスタドライブは	<b>はアンマウントされてい</b>	ます。						
<ul> <li></li></ul>	🚺 システムリカバリ	」を開始するには、デー	タを復元するのに充分な	容量のストレージ	ジをマスタドライブに追加してください。			ストレー	ジ追加

### ご注意

クラウドストレージはシステムリカバリの復元先ストレージとして使用できません。

データを復元するのに充分な容量のある、ローカルストレージまたはネットワークストレージを登録してください。

ストレージは最速ストレージから使用されます。システムリカバリ中にティアリングを行っていても、一時的に容量不足となり、空き容量不足の警告メールが送信される場合があります。

システムリカバリ中は構成ストレージの設定より、空き容量警告「通知する」のチェックを外すことをご検討ください。

② 復元に充分な容量のストレージが登録されると「システムリカバリ開始」ボタンが表示されますので、ボタンをクリックします。

	インスタンス1 マスタモード(V	*:) 🔻 😨 🌣 🔛
タイムマシーン	障害·警告情報 1	
マスタドライブ Unmount ティアリング	ON         フォルダクォータ         OFF	マスタモードに切替 С
		^
		システムリカバリ開始
	不整合修復共有設定	適用 元に戻す

確認ダイアログが表示されます。
 問題なければ「OK」をクリックしてシステムリカバリを開始します。



### ご注意

- ・システムリカバリ中にメインサーバーのユーザー、グループを変更しないでください。
- ・システムリカバリ中にマスタドライブのマウントは可能ですが、システムリカバリ待ちコンテンツとの整合性を確保するため、シス テムリカバリが完了するまで、マスタドライブ上で以下の操作は行えません。
  - ・ファイル、フォルダーの作成
- ・ファイル、フォルダーの移動
- ・ファイル、フォルダーの名前変更
- ・フォルダーの削除
- ④ システムリカバリが開始されます

✓ VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール システムリカバリ (レブリケーションデータ)							vスタンス1 マスタモー	ľ(V:)	<b>•</b> 2.	₿	<b>₽</b>
🔲 マスタモード (V:)	レプリ:	カモード	バックアップ/レプリ	リケーション	TMS		タイムマシーン		障害·警告情報	0	
<b>\$</b>					マスタドライブ Unmount ティアリング	ON	フォルダウォータ OFF		マスタモードに切替		C
<ul> <li>マンスレントン・シージ</li> <li>マンストレージ</li> </ul>	VVAULT (V:	)							^		
■ 🧼 mst	マスタドライブ	分散ドライブ	フォルダ割当								
■ 🍄 高速ストレージ ■ 🖤 中速ストレージ	😑 マスタドライブ	はアンマウントされてい	ます。								
■ 🍄 低速ストレージ	うステムリカバ!	」実行中 (総容量	ē:計算中)								

⑤ システムリカバリが完了すると、表示が以下のように切り替わります。

VVAULT® 管理コンソ	—JJ					インスタンス1 マスク	Þモード(V:)
🔲 マスタモード (V:)	דעידע 🗆	계-开	バックアップ/レプリク	アーション	TMS	タイムマシーン	障害
<b>3</b> 4 <b>3</b> -					マスタドライブ Unmount ティアリング	ON フォルダクオータ	off र
□ 🥪 R油7Ы_=	VVAULT (V:	)					
• 🐝 ₩£/17-9 • 🌮 mst	マスタドライブ	分散ドライブ	フォルダ割当				
■ �� 高速ストレージ	😑 २८७ २७७	はアンマウントされてい	ます。 				

## STEP-5 障害・警告を確認する

「警告・障害情報」タブに警告が表示された場合は、「6章 トラブルシューティング(P.32)」を参照して対処してください。

# 3章 任意時点の状態を復旧する

## 3章 任意時点の状態を復旧する

この章ではタイムマシーン機能を使用して任意時点のファイルを復旧後、システムリカバリで復旧したファイルとタイムマシーン機能を使用して復旧したファイルを差し替える手順を記載しています。

## STEP-1 マスタドライブをマウントする

①「マスタモード」タブのツールバーに配置されている、「Unmount」ボタンをクリックし、マスタドライブをマウントします。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソー				インスタンス1 マスタモード(V:)	• 🤋 🌣 🔛
🔲 マスタモード (V:)	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報 0	
(\$4) (\$4) (\$4)			マスタドライブ Unmount ディアリ:	レヴ ON フォルダウォータ OFF [	マスタモードに切替 C

## STEP-2 タイムマシーンから復元する

「タイムマシーン」タブを開きます。

タイムマシーンビューアー上に「表示日時」時点のコンテンツ情報が表示されます。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール										
	V	VVAL	JLT <sup>®</sup> 管理コンソール					インスタンス1 マスタモ	-⊩(V:) ▼	0. Ö 🖻
■ マスタモード (V:) □ レフリ;		र	スタモード (V:) 🗆 レプリカモ	-15		バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·發告	情報 0
▲ レブリケーション ・ ◎ 2022/12/28 1		ערכע 🕽	y→=> ▼ Ø 2022/12/28 10:1	18				復元1	tr B	it C
🄄 V:¥		V:¥7#	ロレジ1							
S □ 2前▲				_			IF>1			復元
Sustam Valuma Information	0		名前▲	2 2010-01			ハーショノ一覧			サイズ
			Die 10MB 1 1 May apage	0	No	0. 名前	バックアップ日時	更新日時	サイズ	10.010
2 7711/91			C e 10MB_1-2(共有).xlsx.angou		4	e_10MB_1-1.xlsx.ang	ou 2022/12/28 10 17	0:03: 2022/12/28 09:48: 09	10.0MB ^	10.0MB
7+л.#3			pdf_1-1.pdf.angou		3	e_10MB_1-1.xlsx	2022/12/28 0 25	0:48: 2022/12/28 09:48: 09	10.0MB	38.3MB
			Ransom-Readme.txt		2	e_10MB_1-1.xlsx	2022/12/28 0 00	0:47: 2022/12/28 09:46: 36	10.0MB	1.00KB
			t_10MB_1-2.txt.angou		1	e_10MB_1-1.xlsx	2022/12/28 0 19	0:40: 2022/12/28 09:42: 54	10.0MB	10.0MB
						_		1-4件日/4件中	H 4 1 P H	
								復元	キャンセル	
										~
									1-5件目/5件中	н « 1 ) н
								Copyright(C)	Soliton Systems K.K., All	rights reserved. v9.5.15

### ②「表示日時」ボタンをクリックします。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソ	·μ			インスタンス1 マスタモード(	V:) 🔻 😰 🇭
🔲 マスタモード (V:)	レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·整告情報 0
レプリケーション マ	⊘ 2022/12/28 10:18			復元状況	設定
Image: State of the state o					

③ 日時指定ウィンドウにて復元したい日時を指定して「決定」ボタンをクリックします。

日時指定
表示日時: 2022/12/28 10 : 18
□ 常に最新のバックアップデータを参照
決定 閉じる

④ タイムマシーンビューアー上に、指定した日時のコンテンツが表示されます。
 タイムマシーンビューアー上で各フォルダー内を閲覧し、更新日時が指定した日時より前のファイル(復元したい時点のファイル)になっているかどうかを確認します。

💟 VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール			1229221	マスタモード(V:) ▼	0 Č F		
🔲 マスタモード (V:)	VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソ-				インスタンス1 マスタモ	-⊧(v:) ▼	9. 🌣 🕞
▼ レブリケーション ・ ② 2022/12/28 10:	📃 🔍 マスタモード (V:)	コー レブリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情	R O
► v:¥	<ul> <li>VJUb-&gt;=&gt;</li> </ul>	9 2022/12/28 10:00			復元制	KR ] [ 193	E C
	► V:¥フォルダ1						
S □ 名前 ▲							銀元
System Volume Information	❸ □ 名前▲					更新日時	サイズ
□ <b>□</b> 7πμ-91	e_10MB_1-1.xk	sx				2022/12/28 09:48: 09	10.0MB
Π         7πμ/92           Π         7πμ/93	□ □ e_10MB_1-2(共	有).xlsx				2021/04/30 13:16: 20	10.0MB
	pdf_1-1.pdf					2021/04/30 12:19: 22	38-3MB
	□ 📄 t_10MB_1-2.bd					2022/12/27 13:51: 52	10.0MB
	l						~
						1-4件目/4件中	
					Copyright(C) :	Soliton Systems K.K., All rig	hts reserved. v9.5.15

⑤ 復元対象のコンテンツがあるフォルダーに移動し、復元対象にチェックを入れ、「復元」ボタンをクリックします。
 復元オプションウィンドウで復元先フォルダーを指定し、「決定」ボタンをクリックします。
 ※Windowsのシステムフォルダー(\$RECYCLE.BIN、System Volume Information)は復元の必要はありません。
 ※復元オプションについてはWebマニュアルを参照してください。
 ・20-2 各部の名称と役割 > 設定ウィンドウ

https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/20-2.html

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソール			インスタンス1 マスタモー	ŀř(V:) ▼ 😥 🌣 🕞
🖬 マスタモード (V:) 🗆 レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·發告情報 0
▼ レプリケーション ▼	]		復元状	況 設定 C
😂 V:¥				
				復元
S 2 名前▲	復元7	<b>け</b> ション		更新日時 サイズ
System Volume Information	<ul> <li>復元先: V:¥ Restore</li> <li>⑦ 復元用の作業フルル交目動的に作成する</li> <li>③ でキュンア(有線に復元する)</li> <li>③ ウキュンア(有線に復元する)</li> <li>④ サブフルルを含める</li> <li>※ 元了時に通知メールを送信する</li> </ul>	決定	++>E/L	
		_	Copyright(C) S	oliton Systems K.K., All rights reserved. v9.5.15

#### ご注意

復元中に"復元先に指定したフォルダー"に対して変更を加えると復元が失敗しますので、復元処理が完了するまで変更しないでください。

#### ⑥「タイムマシーン」タブより「復元状況」を確認します。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソ	/—JL			インスタンス1 マスタモー	<sup>K</sup> (V:) ▼ 😰 🌣 🔛
🔲 マスタモード (V:)	□ νフ <sup>Ⴠ</sup> カモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報 0
<ul> <li>くロック・ション     <li>くロック・ション     <li>・     </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・      </li> <li>・       </li> <li>・       </li> <li>・       </li> <li>・       </li> <li>・       </li> <li>・      </li> <li>・       </li> <li>・       </li> <lp>・      <th>⊘ 2022/12/28 10:00</th><th></th><th></th><th>復元状</th><th>況 設定 C</th></lp></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></li></ul>	⊘ 2022/12/28 10:00			復元状	況 設定 C
😂 V:¥					

### ⑦ タイムマシーンの復元完了を待ちます。

🔲 र	スタモード (V:)	🗆 ນວັນກ	モード バックフ	マップ / レプリケーション	TMS		タイムマシーン	障害·啓告	情報 0	
ערקע 🛃	ケーション	● ○ 2022/12/28 10	100		復元状況	-	御井守臣		淀	C
찰 V:¥		_	_	_			一覧をクリア	C		
		2022/12/29 15:56:32	フォルダ2		ė	s 💊 🖂	⅔ 復元中   強制終了	^	復元	
⊗ ⊻	名前 ▲		2022/12/28 09:33	:38   V:¥フォルダ2			復元先:V:¥Restore¥2022122 2	915563	サイズ	
	System		-			. ~	-	_		^
✓	- フォルダ1	2022/12/29 15:56:32	フォルダ3		ć		○ 復元待機中   強制終了	045550	-	
~	フォルダ2		2022/12/28 09:33	:52   V:¥フォルタ3			崔元元: V:#Restore#2022122 2	915563		
¥	<u> </u>	2022/12/29 15:56:32	- フォルダ1		é	5 🗠 🖂	復元成功	_		
			2022/12/28 09:33	:20   V:¥フォルダ1			復元先:V:¥Restore¥2022122 2	2915563		
								~		
							1-3件目/3件中 🖌 🖣			
								閉じる		
										~
								1-4件目/4件4		►н
							Copyright(C) Soliton	Systems K.K., Al	I rights reserved	J. v9.5.15

#### ワンポイント

ストレージの空き容量が不足すると、復元は待機状態になります。 新しくストレージを追加するなど、復元に必要な容量を確保してください。

「復元失敗」となった場合は「エラー詳細ログ」をダウンロードして内容を確認してください。また処理が完了しない場合は、復元状況ウィンドウ内の「強制終了」をクリックしてから、もう一段階下の階層で再度復元を試みてください。

#### ⑧ 復元したいコンテンツがなくなるまで、復元を繰り返します。

#### ワンポイント

ファイルはバージョン履歴より個別に復元することも可能です。 詳細はWebマニュアルをご覧ください。 22-2 タイムマシーンによる復元>バージョン一覧から復元する手順 https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/22-2.html

## STEP-3 復元したコンテンツを元の階層に配置する

マスタドライブ上のコンテンツを削除し、同じ階層に復元したコンテンツを配置します。この手順を行うと、レプリケーションを再 開してタイムマシーンビューアーを開いた際に、最新のコンテンツ情報が復元したコンテンツに差し替わって表示されます。 この手順は、システムリカバリ完了後から行えるようになります。

① エクスプローラーからマスタドライブを開き、復元したコンテンツ以外の全てのコンテンツを選択して削除します。

→ * ↑ 🖬 > PC	> VVAULT (V:) >	~	ひ VVAULT (V:)の	の検索	5
🕈 クイック アクセス	名前	更新日時	種類	サイズ	
	Restore	2022/12/28 10:32	ファイル フォルダー		
PC	- フォルダ1	2022/12/28 9:04	ファイル フォルダー		
🔰 3D オブジェクト	□ フォルダ2	2022/12/28 10:02	ファイル フォルダー		
➡ ダウンロード	7+11.472				_
ニ デスクトップ	複数ファイルの	前除		>	<
<ul> <li>デスクトップ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> </ul>	複数ファイルの	)削除 16の3個の項目を完全に削除しますか?	(th)	> いいえ( <u>N</u> )	<
<ul> <li>デスクトップ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ピクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>シュージック</li> </ul>	複数ファイルの	)前除 16の 3 個の項目を完全に前除しますか?	ttv(Y)	> いいえ( <u>N</u> )	<
<ul> <li>デスクトップ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>シュージック</li> <li>ローカルディスク(C:)</li> </ul>	複数ファイルの 2 2 1 2 1 2 1	1前除 16の3個の項目を完全に削除しますか?	tum [	> いいえ( <u>N</u> )	<
<ul> <li>デスクトップ</li> <li>デキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>シュージック</li> <li>ローカル ディスク (C:)</li> <li>VVAULT (V:)</li> </ul>	複数ファイルの	1前除 16の3個の項目を完全に削除しますか?	tum [	> いいえ( <u>N</u> )	<
<ul> <li>デスクトップ</li> <li>デキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>シュージック</li> <li>ローカル ディスク (C:)</li> <li>VVAULT (V:)</li> <li>WAULT (V:)</li> </ul>	複数ファイルの	1前除 1らの 3 個の項目を完全に削除しますか? ┃	ltu( <u>y</u> )	> いいえ( <u>N</u> )	< I

### ワンポイント

ドライブ設定のディスクタイプ「固定ディスク(ごみ箱あり)」をご利用の場合、通常の削除ではマスタドライブ上にごみ箱へ移動したコンテンツの情報が残ります。

空き容量を確保するには、Windowsのごみ箱を空にしてください。

② 復元先フォルダーの中の復元済みコンテンツを、元の階層に移動します。



③ エクスプローラーから各ファイルを開き、問題なく内容が確認できれば、差し替え完了です。

## STEP-4 障害・警告を確認する

「警告・障害情報」タブに警告が表示された場合は、「6章 トラブルシューティング(P.31)」を参照して対処してください。

## 4章 設定値を復旧する



## STEP-1 マスタドライブの設定を再設定する

「マスタモード」タブを開き、以下の項目を再設定します。 ・ドライブ設定 ・分散ドライブ設定 ・フォルダクォータ設定

## STEP-2 マスタドライブ内のフォルダーのアクセス権を確認する

エクスプローラーやコマンドなどからマスタドライブ内の各フォルダーのアクセス権が復元できているか確認します。復元できていない 場合は、再設定します。

## STEP-3 マスタドライブ内の共有フォルダー設定を再設定する

エクスプローラーやコマンドなどからマスタドライブ内の共有フォルダーを再設定します。

# 5章 レプリケーションを再開する

## 5章 レプリケーションを再開する

## STEP-1 レプリケーションの設定を再登録する

システムリカバリ後にレプリケーションを再開する場合、「バックアップ/レプリケーション」タブを開き、レプリケーションの設定値を再設定します。

※タイムマシーン機能は「有効」に設定します。

※設定した保存期間を過ぎたタイムマシーンデータは削除され、それ以降の復元はできません。タイムマシーンデータ保護のため、安定 稼働するまで保存期間を一時的に長く設定してください。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソ-				インスタンス1 マスタモ	-F(V:) 🔹 😥
マスタモード (V:)	ロ レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報 0
\$\$4 \$			バックア	ップ OFF レプリケーション	OFF ライブリカバリ OFF C
■ ➡ バックアップ ■ 🗌 最速ストレージ	レプリケーション				^
<ul> <li>● � 高速ストレージ</li> <li>● � 中速ストレージ</li> </ul>		接続テスト サービスボ	リシー表示 レプリケーション不整	合修復 ペアリング解除	適用 元に戻す
<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	レプリケーション設定				
<ul> <li>■ </li> <li>● </li> <li>ライブいかい</li> </ul>	ペアリングURL* : https:// 10.1. パスワード* : ●●●●●●● ポート番号* : 443	1.12			
	実行時間帯 : ④ 指定しない( タイムマシーン機能: ○ 無効 ④ 有5 アカウント自動同期: ● 無効 ○ 有5 レプリケーション除外: ☑ 作成日時の更し	<ul> <li>&gt; 時間帯指定 00 ♥ 時 00 ♥ f</li> <li>か 90 日 (※最長保存期間</li> <li>か</li> <li>が 叉 更新日時の更新 ♀ アクセス</li> </ul>	み~ <u>00 ♥</u> 時 <u>00 ♥</u> 分 ○ 曜  :90日) 日時の更新 <b>√</b> ChangeTimeの更新	旧毎指定 設定 設定	

## STEP-2 レプリケーションを再開する

### レプリケーションを「ON」にします。

VVAULT <sup>®</sup> 管理コンソー				インスタンス1 マスタモード	(V:) 🔹 😰 🔁
マスタモード (V:)	ロ レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報 0
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I			バック	アップ OFF レプリケーション O	FF ライブリカバリ OFF C

### ご注意

スタンバイサーバー側の構成ストレージにも、充分な容量をご用意ください。 マスタドライブ上にタイムマシーンで復元したコンテンツ全てが、再度レプリケーションされます。 また、暗号化されたファイルを削除した操作も削除履歴として保存期間中は記録が残るため、一時的に容量が必要になります。

レプリケーションが完了するまでにマスタドライブ上でコンテンツの変更をした場合、最後に変更した情報でレプリケーションさ れますのでご了承ください。 タイムマシーンの仕様について https://vvault.jp/knowledge/0\_698.html ② レプリケーションが再開されます。

レプリケーション実行中の帯に処理中の件数が表示されます。レプリケーション完了すると、「レプリケーション実行 中...」の帯表示がなくなります。

VVAULT® 管理コン:	ノール			インスタンス1 マスタモード(	v:) 🔻 🚱 🏷 🕞				
🔲 マスタモード (V:)	ロ レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	TMS	タイムマシーン	障害·警告情報				
			Лу	クアップ OFF レプリケーション ON	ライブリカバリ         OFF         C				
<ul> <li>・ バックアップ</li> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>	レプリケーション								
■ 🎲 高速ストレージ	(1) レブリケーション実行中 残数:11200 残容量:1.00KB								

③ 復旧状態を確認します。

レプリケーション完了後に「タイムマシーン」タブより各ファイルのバージョン一覧を開くと、復元したファイルと復元前の ファイルの更新履歴が紐づいていることが確認できます。

V	▼ VVAULT* 管理コンソール マスタモード(V:) マ 20 ★ ●											
	र.	スタモ−ド (V:)		レプリ	カモード		バックアップ/レプリケーション	TMS	9-	(⊾₹୬−>	障害·警告情	NR O
	▲レプリケーション ▼ ◎ 2022/12/27 15:35 復元状況 設定 C						e C					
-	🔊 V.¥7711/91											
				-			//-	・ジョン一覧			復元したファイ	(III)
			0	0	No.	名前		バックアップ日時	更新日時	サイズ	BUDDICST	76
0		名前▲	E		4	🗋 e_10	DMB_1.xlsx	2022/12/27 15:32: 33	2022/12/27 15:05: 25	10.0MB	新日時	サイズ
		e_10MB_1.xlsx	Г		3	[] e_10	DMB_1.xlsx	2022/12/27 15:05: 43	2022/12/27 15:05: 25	10.0MB	同階層で	司名の B ^ ſブ
		[] e_10MB_2(共有).	.×I		2	🗋 e_10	DMB_1.xlsx	2022/12/27 15:05: 07	2022/12/27 13:51: 30	10.0MB	21/04/30 12:19:	B
		pdf_1.pdf			1	[] e_10	DMB_1.xlsx	2022/12/27 14:52: 37	2021/04/21 16:43: 02	10.0MB	21/10/07 11:22:	38.3MB
						_	_	_	_		~	10.0MB
			_						1-4件目/4件中	H 4 1 P H		
									復元	キャンセル		
											1-4件目/4件中	н ∢ 1 ▶ н
	Copyright(C) Soliton Systems K.K., All rights reserved. v9.5.15											

以上で復旧は完了です。

6章 トラブルシューティング

6章 トラブルシューティング

## 障害·警告一覧

障害・警告情報タブに表示されるメッセージです。

### システム障害

メッセージ	マスタドライブの空き容量が不足している為、システムリカバリを続行できません。
発生条件	システムリカバリ中にマスタドライブの空き容量が不足する。
クリア条件	システムリカバリに必要な容量をマスタドライブに確保する。

### 警告

メッセージ	タイムマシーンの復元処理でエラーが発生しています。
発生条件	復元に失敗したファイルが1件以上存在する。
クリア条件	復元失敗となった履歴をクリアする。

### 警告

メッセージ	復元を保留しているファイルがあります。
発生条件	復元を保留しているファイルが1件以上存在する。
クリア条件	以下のいずれかを実行する。 ・検出履歴からファイルを復元する。 ・検出履歴を削除する。
	※WEBマニュアルを参照してください。 ・21-1 ライブリカバリとは > 保留ファイルについて https://vvault.jp/web-manual/vvault-9/21-1.html

## 状況と対処法

### システムリカバリ

状況	対処法
スタンバイサーバーと接続してもシステム リカバリモードに切り替わらない	システムリカバリを使用するには、スタンバイサーバー側のサービスポリシーで、シス テムリカバリ機能の使用を「許可」に設定しておく必要があります。 スタンバイサーバーと接続後に設定を「許可」に変更すると、メインサーバー側のレプ リケーション設定画面に「システムリカバリモードに変更」ボタンが表示されます。 表示されたボタンを押してシステムリカバリモードに切り替えてください。
エラーを解消してもシステムリカバリが 再開されない	VVAULTのサービス再起動をお試しください。再起動後、システムリカバリが再開さ れます。

### タイムマシーン

状況	対処法
復元開始からしばらく経って復元状況 ウィンドウを確認しても「復元中」のまま になっている	障害・警告一覧に空き容量不足の警告が出ている場合、復元は待機状態になります。 マスタドライブ内のコンテンツを削除するか、構成ストレージを追加してください。 空き容量不足ではない場合は、「強制終了」してから再度復元を試みてください。
復元状況ウィンドウに「復元失敗」と 表示されている	復元状況ウィンドウより「エラー詳細ログ」をダウンロードして内容を確認してください。
エクスプローラーから長いフォルダパス (260文字を超える)内に復元した ファイルを開くと、エラーが表示される	260文字より短いフォルダパスに配置しなおしてください。

